

No.2 カメラ等の映像により、河川の断面や流量を簡便に観測したい

ニーズの概要

- 治水計画の見直し等には、定期的な河川の縦横断測量や洪水時等における流量観測が必要。
- 現状は、ボートを用いた横断方向の深淺測量や、浮子を用いた浮子法で観測。
- 測量・観測には、一定の労力(コスト)や観測時の危険を伴う。



現在の横断測量・流量観測の状況

No.2 カメラ等の映像により、河川の断面や流量を簡便に観測したい

期待するシーズ

- デジタルカメラ等による撮影のみで、当該箇所での河川横断や流量観測等が可能となれば、安全かつ効率的と考えている。
- 河床形状の把握には、航空機レーザー測量も活用され始めているが、洪水時の観測は困難である。

